

後援会通信「グロース」春号

# GROWTH

—大学と家庭をむすぶ—

2012 Spring

vol.

20

# リレーインタビュー 12,000の瞳、 12,000の輝き。

series 2



学生時代は、多くのことに出会い、  
気づき、学んでいく成長の季節。  
その姿には  
一括りに語ることでできない  
豊かで多彩な個性の輝きがあります。  
今、興味をもっていること、  
打ち込んでいるもの、将来の目標、  
そして夢。  
東北学院大生一人ひとりの  
飾らない等身大の姿をご紹介します。

2011年夏、(財)日本体育協会日本スポーツ少年団(以下スポ少)主催の「第37回日独スポーツ少年団同時交流」に参加し、3週間ドイツに滞在しました。この催しに応募できるのは、スポ少のシニアリーダー有資格者。小学4年生の時、軟式野球でスポ少活動を始めた私は、高校生以降は地区のリーダー会に所属してきました。

交流事業では、シュレースヴィヒ=ホルシュタイン、ベルリン、フランクフルトなどのご家庭にホームステイし、実際にスポーツ指導の現場を見学しました。「スポーツを通じて私たちにできる社会貢献」をテーマにディスカッションした際は、私たちのチームは通訳を介さず、英語での話し合いを行いました。言いたいことをうまく表現できず、歯痒い思いをしましたが、受け入れ先のドイツスポーツユースの方々はとても熱心に耳を傾けてくれました。言葉の壁はあっても「伝えようとする意志」「理解しようとする熱意」の間に、コミュニケーションが成り立つのだと強く感じました。これは海外に身を置いた貴重な異文化体験を通じて、学べたことだと思っています。

工学部 電気情報工学科3年  
遠田 隼人さん

伝え・理解しようとする姿勢が大切。  
「コミュニケーション」について  
深く考えたドイツでの3週間。



●スポ少では、挨拶、礼儀、上下関係(目上の人への敬意)を徹底して指導されます。当時は厳しく感じられましたが、今となっては良かったと思っています。



## CONTENTS

01 GROWTH vol.20

01 12,000の瞳、12,000の輝き。  
リレーインタビュー・2

03 SPECIAL ISSUE [特別企画]  
学長対談：災害ボランティアステーションの  
運営メンバーを迎えて

05 後援会総会のお知らせ

06 地区後援会のお知らせ

07 ゼミ・研究室探訪  
宮城 豊彦ゼミ

09 倶楽部拝見  
弓道部



●誘われて定禅寺ストリートジャズフェスティバルに出演したこともあります。観客の方々の距離が近いので、反応がダイレクトに伝わってきます。音楽の力を感しました。

経営学部 経営学科3年  
山川 紗季さん

またひとつ、新しい表現に出会えた！  
知れば知るほど深まる  
アルトサックスの魅力。

私がアルトサックスと出会ったのは小学3年生の時。プラスバンド部の行進をみて、カッコいい！と目を奪われました。ネックが大きく曲がった独特の意匠、運指の鮮やかさ、やさしく落ち着いた音のある音色…すべてに魅了されて、「やってみたい！」と強く願うようになりました。でも、プラスバンドへの入部が認められる4年生を前にして転校。新しい学校では、金管楽器のバンドしかなく、思いを遂げることができませんでした。

やっとアルトサックスを手にすることができたのは中学に入ってから。簡単に吹けるものだと思っていたが、実際にはまったく音が出ず、奮起したのを覚えています。中高時代は、練習漬けの日々。こちらが真剣に向き合うことで、アルトサックスは新しい音の表情を見せてくれます。その豊かで多彩な可能性にさらに魅せられていきました。大学に入ってから、宮城室内管楽アンサンブルに所属し、他大学の学生や社会人の方と合奏を楽しんでいます。音楽とは“音を楽しむ”こと。聴くのはもちろん、楽器を演奏することは本当に心躍ることだと思っています。

高校に入って、かねてからの念願だったダンススクールに通い始めました。アーティストと同じステージに立てたらいいなというのがその頃の夢。大学入学後は、仙台の教室だけではなく、東京の著名な先生に師事するようになりました。僕と同じように地方からレッスンに通っているような人たちは、プロになる！という上昇志向の持ち主が多くて、大きな刺激を受けました。

自己表現の手段として、ダンスは自分にとっても合っているといます。技術が未熟な時は、与えられた振り



付け通りに動くだけでしたが、だんだん上達してくると、“自分の踊り”が表現できるようになります。でも、複数のダンサーでひとつのステージをつくりあげていく場合、悪目立ちするような自己主張は封印しなければなりません。ダンスをしていると協調性が養われます。

大学4年間は挑戦の期間と決めて、いろいろなオーディションに挑戦し、誰もが知っているビッグアーティストのバックダンサーとして踊ることができました。ダンスはずっと続けていきますが、今は“次の目標”に向かって動き始めています。

●数日続くライブの場合、ステージ全体の仕上がり具合や観客の反応をみて、次の日には振り付けが変わることもあります。臨機応変さが求められます。



教養学部 情報科学科4年  
高野 宰さん

大学4年間は、思う存分チャレンジしよう。  
オーディションを経て、  
有名アーティストと同じ舞台に！

10 年間スケジュール

13 学務部より

11 CAMPUS NEWS  
就活応援バスツアー／追悼礼拝

学生部より

就職部より

学都仙台、史跡の町多賀城、これらの地域にある3つのキャンパスに本年も新入生を迎え、新しい年度がスタートしました。東北学院大学後援会は、学生の勉学や課外活動を支援するために組織されたものです。また、本誌「グロス」は、大学の近況を後援会会員である保護者の皆さまへお伝えする情報誌であり、大学と家庭の架け橋となるものです。今号では、後援会総会や地区後援会の開催などについてお知らせしております。学生の充実した大学生活と東北学院大学の発展のために、保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

## 学長対談

# 「共に助け合うこと」を深く考え、行動する——ボランティア活動を通じた学びと成長の一年を振り返る。

～「災害ボランティアステーション」の阿部教授、運営メンバーを迎えて～

昨年3月11日の震災発生から間を置かずして組織された東北学院大学災害ボランティアステーション。被災地にある大学として出来ることは何かを模索し、すみやかな行動へとつなげてきました。参加した学生さんは延べ5,000人。砂ぼこり舞う被災地に赴き、汗を流し、年齢や職業、価値観もさまざまな人々と向き合い……そこには一人ひとりの学びと成長の物語がありました。



## すべてが初めての取り組み、“震災時”ボランティア。

**星宮** 東日本大震災の発生から一年が経ちました。被害に遭われた方々には改めてお見舞いを申し上げます。この度の震災に際しては、全国から寄せられた物心両面の支援やボランティア活動が、被災地を勇気づける力になったように感じています。東

北学院大学でも震災発生から間を置かず、災害ボランティアステーションを立ち上げ、教職員・学生が一丸となって、“私たちに出来ることは何か”を探り、多様なニーズに応じてきました。そもそも本学には60年の歴史を持つ「セツメント会」というキリスト教の教えを背景としたボランティア組織があります。しかし、私たちが得意としてきたのは“平時”のボランティアなんです。災

害時に関しては、経験・ノウハウ・技術が全くといってよいほどありません。そのあたりは運営に当たっていた阿部先生がご苦労された点かと思えます。



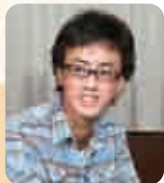
経済学部  
共生社会経済学科

阿部 重樹教授

**阿部** 当初は社会福祉法人仙台市社会福祉協議会(以下:社協)に協力を形で活動が始まりました。今回は被害が広範囲かつ甚大でしたから、とにかく担い手が必要だったんですね。東北

学院からも多くの学生が参加しました。本学独自の活動を展開していくのは、学生さんの安否確認の目処がついた頃から。もちろん試行錯誤という側面は否めませんでした。社協のご担当者や青山学院大学の先生方(実際に災害ボランティアとしての経験がある)のサポートをいただきながら切り盛りしていきました。被災者の心に寄り添い、柔軟にきめ細やかに対応していくというのが私たちの合い言葉でした。こちらの三人は、被災地に Outreach の一方で、マッチングや後方支援、マネジメントを行う運営スタッフとしてがんばってくれました。もちろん今も取り組みを続けてくれていま

す。ボランティアに参加することになったきっかけを聞かせてください。



経済学部  
経済学科4年

菊地 崇史さん

忙しさにかまけて、なかなか一歩を踏み出せずにいたのですが、ここにいる遠藤君が背中を押してくれました。

菅間 私は震災前からボランティアに興味があって、託児所などで子どもたちの相手をしていました。震災後は、アルバイトもサークル活動も出来なくて、空いた時間を無駄にしたくないなあと思っていたところ、ゼミの指導教員である阿部先生からお声掛けいただきました。本学運営のボランティア組織ということで安心できた点も大きかったと思います。

遠藤 親戚宅が津波被害に遭い、片付けなどを手伝っていたのですが、そこが一段落すると近隣のお宅、そこも落ちてくと地区社協に飛び込んでガレキ撤去や汚泥除去などのボラン



経済学部  
経済学科4年

遠藤 吉輝さん

ティア活動をしていました。自宅のインターネット環境が復旧してからは、大学にも災害ボランティアステーションがあるのを知り、飛び込みました。

### 多様な価値観の中で磨かれた コミュニケーション力。

星宮 みなさんはボランティア活動を通じて、多くの気づきや学びを得たのではないのでしょうか。

遠藤 僕たちが普段接するのは、本学の学生であったり、教職員の方々、アルバイト先の仲間といった限られた範囲ですが、被災地では年齢や立場、職業も実にさまざまな人たちと出会いました。自分が持っている感性や考え方といった“多様な価値

観”に触れられたのは、とても貴重な体験でしたし、会話を通じて、ずっと大切にしていきたいと思える言葉もいただきました。新しい発見の連続でした。

菅間 いたましい体験をした被災者と直に接するのは、特別な学習と訓練を積んだ専門家じゃなければいけないのかなあと気後れしていましたが、子どもたちが甘えてきてくれたり、笑顔で楽しんでくれている姿を見て、こちらまでうれしくなってきました。あとから「被災地の子どもたちは普通のお兄さん、お姉さんを必要としている」という意見を聞き、私たち大学生でも果たせることがたくさんあるんだと思いました。

菊地 遠藤君が言った通り、ほんとうにいろいろな方たちと接することになりますから、コミュニケーションについて、自分なりの考えを巡らす良い機会になりました。また、現場での活動を続けていくうちに、“ボランティア”と身構えるのではなく、普通の大学生が困っている人をお手伝いしているという“友だち”感覚で臨むほうがよいのではないかと思うようになりました。友だちと言い切ってしまうのは、目上の方に失礼ですけど(笑)。

星宮 友だちという捉え方はいいですね。キリスト教における隣人愛、「善きサマリア人のたとえ」(新約聖書、ルカによる福音書10章25節から37節)にも通じるものがあるように感じます。とてもうれしく思います。

### 東北学院ならではの多彩な 知識・技量を生かし切る。

阿部 災害ボランティアステーションを立ち上げた後に、全国14大学との連携体制をつくりました。夏休み期間中には、そのネットワークを機能させて、気仙沼での5泊6日×9クールという集中ボランティア活動につなげることができました。昨年12月には中間の振り返りということで本学が中心となりシンポジウム『東日本大震災と学生ボランティアの役割』を開催しました。

菊地 僕は発表側だったのですごく緊張しましたが、夏に気仙沼で一緒だった人たちと再会できて、思い出話ができしたのはよかったです。ネットワークづくりという意味

では、“個と個”のつながりが基本になりますから。



経済学部  
共生社会経済学科4年

菅間 美波さん

菅間 当日は仮設住宅にお住まいの方がつくったグッズ販売のお手伝いをしました。ニット帽やコースター、ミサンガなどはかわいいと評判でした。

遠藤 他大学の人たちは、ツイッターやフェイスブックで交流を図っています。いずれもゆるくつながる1ツツールなので、“個と個”のつかず離れずの関係も保ちやすいと思います。

星宮 二日間のシンポジウムにはたくさんの方が集まってくださいましたね。本学がキーステーションのような役割を担ったことに対する謝意も頂戴しました。さらに東北学院ならではのタレント(才能、技量)が発揮された例として、海外にリリースする震災関連の写真集や書籍の翻訳もあったのではないのでしょうか。

阿部 外国から届いた手紙などを訳す作業も、本学の災害ボランティアステーションが得意とするところです。現在、被災地のボランティアニーズは一見落ち着いたかに見えますが、実は潜在しているだけで必要とされていることがたくさんあります。最近はボランティア活動の傍ら、そうした要望を吸い上げていく取り組みを続けています。

星宮 ボランティアにおいては需要と供給のマッチングが要になってきますね。被災地の一次情報をインターネット上で発信していくことも、情報リテラシーの高い学生さんたちが得手とすることでしょう。震災復興を底支えする、はつらつと元気な若い力に大いに期待しております。

※文中、敬称略



学長 星宮 望

東北学院高等学校から東北大学工学部電子工学科へ。同大学院工学研究科電子工学専攻博士課程修了、工学博士。長らく東北大学にて研究、教育に勤務し2001年同大副総長、2004年3月定年退官、東北大学名誉教授。同年4月東北学院大学学長ならびに学校法人東北学院理事に、2007年学校法人東北学院学院長に就任。現在に至る。1941年生まれ、仙台市出身。

本年も、新緑映える泉キャンパスを会場に、後援会総会を開催いたします。当日は、総会のほか、「学生の就職を考えるセミナー」や「パイプオルガンコンサート」、「学科別懇談会」や「個別相談」などの大学開放プログラムを多数用意しております。この機会に、ご子女の学生生活の一端に触れていただければ幸いです。保護者の皆さまのご参加をお待ちしております。

- 日時** 平成24年5月26日(土)  
 ●総会/10時55分～12時  
 ●大学開放プログラム/9時～15時30分
- 会場** 東北学院大学泉キャンパス(総会は礼拝堂)



昨年度の総会の様子

## 平成24年度 東北学院大学後援会総会並びに大学開放プログラム 開催概要

日程:平成24年5月26日(土)/場所:泉キャンパス

| 時間    | 内容  |
|-------|---|
| 9:00  | <b>受付総合案内所</b> 9:00～15:00(1号館外)   |
| 10:00 | <b>大学礼拝</b> 10:25～10:45(礼拝堂)  |
| 11:00 | <b>後援会総会</b> 10:55～12:00(礼拝堂)<br>1.開会宣言<br>2.聖書朗読並びに祈祷<br>3.挨拶<br>4.議事 (1)平成23年度後援会庶務報告 (3)東北学院大学後援会会長の選任 (6)その他<br>(2)平成23年度後援会収支決算報告 (4)平成24年度後援会事業計画(案)<br>並びに会計監査報告 (5)平成24年度後援会収支予算(案)<br>5.閉会宣言 |
| 12:00 | <b>パイプオルガンコンサート</b><br>12:15～12:45(礼拝堂)<br>演奏者/小野なおみ(礼拝オルガニスト)  |
| 13:00 | <b>学科別懇談会</b> 13:00～14:00(2号館各教室)<br>・学科の特色や教育内容<br>・成績の見方、進級、卒業について<br>・教員との自由懇談(希望者のみ)  |
| 14:00 | <b>学生の就職を考えるセミナー</b> 14:10～15:10<br>「最新の就職事情と親の関わり方<br>～親はわが子の就職活動にどう関わるべきか～」<br>講師/園田雅江(株式会社gusiness 代表取締役)  |
| 15:00 | <b>個別面談コーナー</b> 12:15～15:30<br>(2号館各教室)<br><b>学生部</b><br>・奨学金<br>・課外活動<br>・アルバイト<br>・健康管理<br><b>就職部</b><br>・就職活動<br>・求人状況<br>・教員・公務員への<br>試験対策と準備   |
| 16:00 | <b>施設開放</b> 9:00～15:30<br>(1)施設見学<br>就職資料室<br>図書館<br>情報処理センター<br>オーディオ・ビジュアルセンター<br>カウンセリング・センター<br>(2)課外活動見学<br>体育館<br>総合運動場<br>(3)大学紹介ビデオ上映<br>オーディオ・ビジュアルセンター                                      |
| 17:00 | <b>昼食</b> 12:00～14:30<br>(学生食堂)<br>・第1食堂<br>・第2食堂<br>・喫茶リーベ   |



地区後援会とは、7月～8月にかけて、北は札幌市から南は東京都までの全20地区に本学教職員が出向き、東北学院大学の近況のご報告や個別面談などを行うものです。5月の後援会総会の出席や欠席にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。また、夏休み期間で帰省されているご子女とご一緒にご参加いただくこともできます。該当する地域の保護者の皆さまへの正式なご案内状の発送は、6月中旬を予定しております。多数の方々のお申し込みをお待ちしております。

**実施期間** 平成24年7月6日(金)～7日(土)、14日(土)、20日(金)～21日(土)、8月17日(金)～18日(土)、24日(金)～25日(土)

**時間** 10時～13時

**実施会場** 全20地区(下記の表をご参照ください。)

**プログラム** 学務部・学生部・就職部からの説明、大学紹介ビデオの上映、就職講演会、昼食、個別面談など



昨年度の盛岡会場の様子

## 開催一覧

| 地域  | 開催地区 | 期日       | 会場                  | 地域 | 開催地区     | 期日       | 会場            |
|-----|------|----------|---------------------|----|----------|----------|---------------|
| 北海道 | 札幌   | 8月25日(土) | ホテル札幌ガーデンパレス        | 山形 | 山形       | 7月7日(土)  | 山形国際ホテル       |
|     | 青森   | 8月18日(土) | 青森国際ホテル             |    | 新庄       | 7月20日(金) | ニューグランドホテル    |
|     | 八戸   | 7月14日(土) | 八戸グランドホテル           |    | 米沢       | 8月17日(金) | 東京第一ホテル米沢     |
| 岩手  | 盛岡   | 7月7日(土)  | ホテルメトロポリタン NEW WING | 酒田 | 7月21日(土) | ル・ポットフー  |               |
|     | 北上   | 8月24日(金) | ホテルシティプラザ北上         | 福島 | 福島       | 8月18日(土) | 福島ビューホテル      |
|     | 一関   | 8月25日(土) | ベルリノーホテル一関          |    | 郡山       | 7月7日(土)  | 郡山ビューホテルアネックス |
| 宮城  | 大河原  | 7月14日(土) | 総合会館ララさくら           |    | 会津若松     | 7月6日(金)  | 会津若松ワシントンホテル  |
|     | 古川   | 7月14日(土) | 芙蓉閣                 | 栃木 | 宇都宮      | 8月18日(土) | チサンホテル宇都宮     |
| 秋田  | 秋田   | 7月21日(土) | アキタパークホテル           |    | 東京       | 東京       | 8月17日(金)      |
|     | 大館   | 8月17日(金) | ホテルクラウンパレス秋北        |    |          |          |               |
|     | 横手   | 7月20日(金) | 横手セントラルホテル          |    |          |          |               |

※一覧表の内容が変更となる場合もあります。6月初旬発送予定の正式なご案内状をご確認ください。

※一覧表にある時間は全体会の開催時間です。個別面談を希望される場合の最終終了時間は、青森・秋田・盛岡・山形・福島・郡山地区が15時頃、そのほかの地区は14時頃となります。

なお、個別面談は先着順となります。

※ 宮古・釜石・大船渡・気仙沼・相馬・原町・いわきについては、震災の影響により今年度は休止とさせていただきます。

## 持続的発展に向けて。 自然と人間活動が交わる “土地”を科学する。

教養学部 地域構想学科 宮城 豊彦 教授

国内外のシンポジウムや講演等では、震災体験の“語り部”としての役割を果たしていきたいと思っています。

宮城豊彦 教授 / 1951年宮城県生まれ、1970年宮城県仙台第三高等学校卒業、1974年東北学院大学文学部史学科卒業、1980年東北学院大学院理学研究科博士後期課程修了、同年より東北学院大学文学部史学科・教養学部地域構想学科に勤務、専攻は、自然地理学、地生圏学など。

### マングローブは“土地”だ！

“事件は会議室で起きてるんじゃない。現場で起きてるんだ！”とは、邦画に登場する台詞ですが、宮城先生の研究の舞台も、机上ではなく、“現場”から始まります。「フィールド調査に入ると、1〜2ヶ月間日本を離れることになりますから、ここだけの話、出掛ける前は気が重いですよ。でも、現地に着けば、すぐさま研究モードに替わります。不思議なもので、調査地を離れる時『また、ここに来るぞ』と思うと、そこがどんなに人跡まれな辺境の地であっても、数年後に再び訪れることができるのです。土地が呼んでいるんでしょうね」とユーモアたっぷりのトークに引き込まれます。熱帯・亜熱帯の海岸線(アフリカ大陸は除く)をほとんど歩き尽くしたと語る宮城先生は「土地」研究の世界的先駆者。「いや、バイオニアというわけではなく、

～“土地”研究の第一人者・宮城先生。昨年の東日本大震災による惨禍を目の当たりにして「自然はわからないし、心底おそろしいと感じました」と心情を吐露します。研究対象として自然と対峙しながらも、その根底には天地万物に対する畏怖の念があります～

それだけ新しい学問領域というわけです」。その研究内容について、簡単にご説明いただきます。

「みなさんはマングローブという植物の名前を一度は耳にされたことがあるかと思います。これは、熱帯・亜熱帯の潮間帯(潮の満ち引きの及ぶ土地)に生育する樹木を総称するもので、世界中で70とも100ともいわれる種が存在します。平均海面から高潮位までの限られた範囲に森林を形成するのですが、海面が上昇すると陸側に移動し、逆に下がると海側に移動します。『海面変化と共に動く森』というわけです。

また、時間を掛けて泥炭(根などが蓄積したもの)を堆積するので、それを追跡することで、過去の海面の高さ、海岸の位置、森林の規模を復元することができます。かつてどのように土地が変動したかを語ってくれる証言者というわけです。

### 自然と人間活動のインターフェースを担う。

近年、世界各地でマングローブの消失・破壊が問題になっています。エビの養殖場にするための開発や、まきや炭を得るための伐採などが主原因とされます。「先に、マングローブは海面が上昇すると陸側に移動することを述べましたが、昨今では後背地の土地利用が進み、動きたくても動けない状況も生まれています。人間活動の影響により、地球上の自然が縮小・劣化し、危機に瀕していることは、地球環境問題として





広く認識されています。自然と人間活動が交錯する場としての“土地”の特性を踏まえた、自然環境全体の総合的理解を目指すのが、私たちの研究なのです。宮城先生は続けます、「自然の中に、人間活動が入り込むとそこは“地域”になります。地域の持続可能性を叶えるためには、インターフェースが重要になります。自然と人間の仲介役を担うことは私たち研究者の使命であり、責任であるといえます」。

現在、各国でマングローブの再生を目指した試みが行われています。これは“命のゆりかご”ともいわれる豊かな生育環境の提供者としての役割だけではなく、スマトラ島沖地震(2004年12月26日)における津波被害軽減効果をも指摘されてのことです。「マングローブの再生に関しては、潮間帯の環境、つまりは“土地”を修復することで劇的な効果を生みます。私が関わったユカタン半島(メキシコ)の再生プロジェクトは、枯れ果てたマングローブ林がわずか数年でよみがえりました。また、マングローブを松の木に置き換えると日本各地にみられる海岸防災林になりますね。東日本大震災に際しても、こうした海岸林が津波の勢いを抑制したり、船舶が市街地まで流されるのを阻んだりする効果があると改めて確認されました(2012年1月、林野庁検討会の最終報告)」。スマトラ島沖地震や東日本大震災における津波の実態調査においては、宮城先生が中核メンバーとして参画されています。そして話は、被災者視点と研究者としての視座が交錯する「3.11」に及びました。

### 被災した研究者として、果たすべきこと。

実は震災前から、地域の自主防災組織の指導に取り組んできた宮城先生。「例えば、防災マップは完成したものをお渡しするのではなく、住民のみなさんに作成してもらいます。そうすると作る課程で地域のことをよく知ることができるんですね。何がどこにあるかが頭の中に入っていれば、スムーズな避難行動ができるのではないのでしょうか。こうした取り組みは、今後求められる「防災と減災の複合社会づくり」につながっていくと宮城先生は考えます。

「防災とは、専門家が経験知・モデル化・シミュレー

ション・対策の4つの課程で構築する技術工学的な手法であり、減災とは災害から避難する、回避する、緩和するといった自主的な行動を行うことです。前者は公が主体となって推進しますが、後者は地域・市民が主役です。防災&減災のコンビネーションに向けては、公助だけではなく自助・共助が鍵になってきます。合理的なアドバイスを行う専門家の役割も大きいですね。私はいつも学生さんたちに『研究者は実際の場で何かを成すことが大切』と言っています。それは取りも直さず、自然の中に、そして地域や人びとの中に入っていくことなのです」。貫かれる現場主義。百戦錬磨のフィールドワークから紡ぎ出される言葉です。「今回の大震災によって引き起こされた現象や事実は、定量的に精密に、確度高く記録されました。それらは世界に向けて広く開示されています。もちろん起こったことは筆舌に尽くしがたいものですが、私たち研究者はそれを客観視し、共有の知見、英知としていかなければなりません。被災した研究者として果たすべき任は非常に大きなものがありますね」。宮城先生の多忙な日々はまだ続きます。



写真は、文中でご紹介したユカタン半島のマングローブ。仙台ー東京間と同じぐらいの距離(約350キロメートル)のマングローブ林が枯れて、見るも無惨な姿になっていましたが、2006年から2011年までのプロジェクトで再生させることが出来ました。マングローブ特有の旺盛な生命力のおかげでもありますが、環境(土地)を整える重要性が理解できる好例だと思います。

### MY FAVORITE

海の近くに家を求めたほどの釣り好きです。在外研究員としてシドニー(オーストラリア)に滞在していた折は、邦人向けの釣り情報紙に担当コーナーを持ち、記事を書いていました。大物を仕留めた折は「宮城先生、マグロ釣る!」と大きく掲載されたほどです。調査で訪れたツバルのヌクフェタウでは、ジャイアント・トレヴァリー(ロウニアジ)を持参した包丁でお造りにしてみました。とても美味しいと地元の人たちが驚いていました。ちなみにツバルでは、生魚を食べる食習慣があります。

# 倶楽部拝見

## 弓道部



### 目標は全国制覇

弓道部は少数精鋭ながら全国の舞台、そして王座を見据え日々練習に励んでいる。

昨年8月に開催された全日本学生弓道選手権大会。207校がひしめく女子団体戦において並みいる強豪を次々と打ち破り、弓道部女子メンバーが準優勝の座に輝いた。結果だけを見れば快挙といえる活躍だが、当時の主力の一人、松岡さんは若干の悔いを滲ませた。「全国で準優勝という結果は自分でも驚きましたが、決勝で勝てなかったことに対する悔しさが強かったですね。ただ、この結果が秋のリーグ戦に向けて、心をひとつにしてくれたとも思います」。

弓道部には現在、男子13人、女子4人の部員が所属。通常時の全体練習は約4時間、休日ともなれば9時間にも渡り、黙々と矢を射て的中する。その反復と積み重ねが、昨年の全国大会準優勝という結果に結びついた要因でもある。松岡さんから代替わりで女子責任者を引き継いだ長谷川さんも、弓道の魅力に引き込まれた一人。「最近では日常生活も弓道の練習と思い、人間性を高めたいと考えています」と話すほど、弓道への思いは強く、深い。そして弓道部では、3年次の秋のリーグ戦で引退が基本的な習わし。二人が共に戦う最後の大会となった昨年のリーグ戦、結果は準優勝。最大の目標として掲げていた全国への道が開かれることはなかった。だからこそ、松岡さんの後輩へ寄せる期待は大きいという。「あの悔しさをバネに、粘り強く元気に戦えば絶対に結果はついてくるはず。次こそは頑張って優勝してほしいですね」。

その激励を受け取った長谷川さんからもまた、今年に懸ける並々ならぬ思いが伝わってきた。「昨年、ある程度の結果は残しましたが、それを維持するというより、また下から上り詰めて、頂点を掴みにいく気持ちでいます。ぜひ、弓道に対する強い思いがある方の入部を待っています」。



前女子責任者  
**松岡 渚**さん  
(経済学部  
共生社会経済学科4年)

女子責任者  
**長谷川 愛**さん  
(法学部 法律学科3年)

大学の年間スケジュールをお知らせいたします。  
保護者の皆さまにもお覚えいただき、ご子女の円滑なる学生生活にお役立てください。

●年間スケジュール中の **土** 印は土樋キャンパス、**泉** 印は泉キャンパス、**多** 印は多賀城キャンパスの日程です。

| 前期                        |                                      | 後期                        |                               |
|---------------------------|--------------------------------------|---------------------------|-------------------------------|
| 平成<br>24年<br>4月           | 4日(水) 入学式                            | 9月                        | 18日(月) 授業開始(土多泉)              |
|                           | 2日(月) 新入生オリエンテーション(～8日)              |                           | 28日(金) 9月期卒業式                 |
|                           | 9日(月) 授業開始(土多泉)                      | 10月                       | 9日(月) 振替授業(土曜日分)              |
|                           | 14日(土) スプリング・カレッジ                    |                           | 大学祭、ホームカミングデー[同窓祭]            |
| 5月                        | 15日(火) 創立記念日[創立126周年]                | 24日(水) 振替授業(金曜日分)         |                               |
|                           | 26日(土) 後援会総会                         | 11月                       | 14日(水) 振替授業(土曜日分)             |
| 6月                        | 4日(月) 青山学院大学総合定期戦(～6日)               |                           | 27日(金) 振替授業(金曜日分)             |
|                           | 24日(日) 北海学園大学総合定期戦(～26日)             | 12月                       | 7日(金) 泉キャンパスクリスマス             |
| 7月                        | 6日(金) 地区後援会(会津若松)                    |                           | 13日(木) 大学クリスマス(～14日)          |
|                           | 7日(土) 地区後援会(盛岡・山形・郡山)                |                           | 14日(金) 公開東北学院クリスマス(土)         |
|                           | 14日(土) 地区後援会(大河原・古川・八戸)              |                           | 20日(木) 振替授業(土曜日分)             |
|                           | 20日(金) 地区後援会(横手・新庄)                  |                           | 20日(木) 授業終了(土多泉)              |
|                           | 21日(土) 地区後援会(秋田・酒田)                  |                           | 21日(金) 冬休み開始(土多泉)             |
|                           | 25日(水) 振替授業(土曜日分)                    |                           | 21日(金) 集中講義(土多泉～28日)          |
|                           | 27日(金) 授業終了(土多泉)                     | 平成<br>25年<br>1月           | 5日(土) 冬休み終了(土多泉)              |
| 28日(土) 前期試験(～31日、8月1日～3日) | 7日(月) 授業開始(土多泉)                      |                           |                               |
| 8月                        | 1日(水) 前期試験(～3日)                      |                           | 13日(日) 企業研究セミナー(全学部3年生対象～15日) |
|                           | 4日(土) 夏休み開始(土多泉)                     |                           | 19日(土) 大学入試センター試験(～20日)       |
|                           | 4日(土) オープンキャンパス(全学部)                 | 28日(月) 授業終了(土多泉)          |                               |
|                           | 5日(日) オープンキャンパス(多)                   | 29日(火) 後期試験(～31日、2月5日～8日) |                               |
|                           | 6日(月) サマー・カレッジ(～8日)                  | 2月                        | 1日(金) 一般入学試験 前期日程(～3日)        |
|                           | 17日(金) 地区後援会(大館・米沢・東京)               |                           | 5日(火) 後期試験(～8日)               |
|                           | 18日(土) 地区後援会(青森・福島・宇都宮)              | 3月                        | 5日(火) 一般入学試験 後期日程             |
| 24日(金) 地区後援会(北上)          | 26日(火) 卒業式                           |                           |                               |
| 25日(土) 地区後援会(札幌・一関)       |                                      |                           |                               |
| 9月                        | 3日(月) 集中講義(土多泉～12日)                  |                           |                               |
|                           | 15日(土) 東北学院大学生のための合同企業セミナー(全学部4年生対象) |                           |                               |
|                           | 15日(土) 夏休み終了(土多泉)                    |                           |                               |

\*日程は変更となる場合もあります。

# CAMPUS NEWS

## 就職活動応援企画

### 「就活応援バスツアー」を開催

2月14日に全学部4年生を対象とした就活応援バスツアーを開催しました。参加した23名(男子14名・女子9名)の学生は、同日の夜間に出発し、東京労働局主催「新規大卒者合同就職面接会」が行われる東京ビッグサイトへ向かいました。

約200社が参画する面接会に万全の状態に参加できるように、一同はイベント参加前に浜松町にある東京就活ルームにて事前レクチャーを受けました。

卒業前の大きな内定のチャンスをつかむべく、学生一人一人も目標や決意を持って挑み、受付が始まると同時に企業のブースに一番に入っていく学生の姿も多く見られました。

ツアー終了後のアンケート調査では、「参加して良かった」、「満足のいく面接会だった」、「就職に向けて良い収穫が得られた」などの好意的な声があがりました。



#### 参加学生の声

- 事前に心構えのレクチャーを受けられ、充実した面接会になった。
- この価格で参加できたのはとても助かりました。
- 面接以外のことは気にせずに済んだので集中できました。
- 今まで地元こだわっていたが、それを変えるいい機会になった。





## あの日を忘れず、復興へ心をひとつに 東北学院東日本大震災追悼礼拝を開催

東日本大震災から一年が経った3月11日、震災の犠牲者を追悼し、復興への誓いを新たにするために、多賀城キャンパス礼拝堂で「東北学院東日本大震災追悼礼拝」が執り行われました。震災によって東北学院では大学生5名、高校生2名、平成23年度入学予定者4名の尊い命が奪われ、14時30分に開会した礼拝には本学関係者をはじめ、近隣住民など約400名が参列。前奏、讃美歌を歌った後、佐々木哲夫宗教部長による聖書朗読、祈禱が行われ、一年前に地震が発生した14時46分には参列者全員で1分間の黙禱を捧げました。その後、壇上に上がった平河内理事長は式辞の中で「この多賀城キャンパス礼拝堂は、多賀城地区の被災者やドイツからの旅行者などの避難場所となったところ。ある人には近寄りがたい場所であるかもしれませんが。またある人には安心、安全を再確認できる場所かもしれません」と述べるとともに犠牲者の冥福を祈り、頌栄、終禱をもって礼拝は終了しました。



## 半期15回の授業の確保と夏休み

学務部長

千葉 昭彦

今日、大学の半期の授業は15回確保することが強く求められています。そのため、多くの大学では学事暦の作成に苦心しています。実際、大学の中にはすべての祝日で通常の授業を行っているところがありますし、前期の試験終了が8月のお盆明けまでずれ込んでいる大学もみられます。

東日本大震災の影響から昨年度前期の学事暦は例年のものとは大幅に異なりましたが、例年では本学の前期の授業終了は7月末か8月上旬。試験終了は仙台七夕祭後になることもありました。そうなると夏休みを短縮せざるをえなくなります。しかし、夏休み期間中には様々な実習・実験・調査や集中講義、ゼミなどの合宿、さらには社会体験としての会社などでのインターンシッププログラムも予

定されています。それに加えて、長期休暇期間は学生にとって文献研究や課題に腰を据えて取り組める機会です。そのため、大学では夏休み期間も重要な学修機会と位置づけています。

今年の新入生オリエンテーションは入学式前の4月2日から始まり、授業はすべての学年で4月9日から開始しました。例年と比べてやや早めの授業開始となるので、授業終了は7月27日、前期試験終了は8月3日となっています。後期も同様に15回の授業が確保されています。また、年末年始の冬休みと約8週間の春休みが予定されています。いずれも学修の機会として有効に活用してもらえことを期待します。

## 就職活動スケジュール

|        | 1年生  |    | 2年生  |  | 3年生                              |  |   |
|--------|--|----|--|--|----------------------------------|--|---|
|        | 10月  | 3月 | 6月   | 3月   | 6月                               | 8月   | 10月   |
| 一般企業   | ●就職ガイダンス<br>●適性検査                              |    |  | ●就職ガイダンス<br>●職業適性検査  | ●就職ガイダンス<br>●職業適性検査              | ●第2回 就職活動ガイダンス<br>●第1回 就職活動ガイダンス   | ●第3・4・5<br>●就職実践<br>●第2回<br>●日経経済<br>●SEQ・自 |
|        |  |    | ●就職対策講座<br>●論作文講座  |  | ●第1回 SPI模擬試験                     |  | ●第1・2回<br>就職支援講演会 ●                         |
|        |  |    |  |  |                                  | ●第3回 就職支援講演会   | ●インターンシップ                                   |
| 公務員・教員 | ●公務員ガイダンス<br>●公務員講座【教養基礎】<br>●公務員講演会<br>●教員講演会 |    | ●公務員ガイダンス<br>●公務員講座【教養科目徹底コース】<br>●公務員講座【専門科目徹底コース】<br>●公務員講座【技術職コース】<br>●公務員講演会<br>●教員講演会 | ●公務員ガイダンス<br>●公務員講座【教養科目徹底コース】<br>●公務員講座【専門科目徹底コース】<br>●公務員講座【技術職コース】<br>●公務員講演会<br>●教員講演会 |                                  | ●公務員講座【教養科目徹底コース】<br>●公務員講座【専門科目徹底コース】<br>●公務員講座【教養科目演習コース】<br>●公務員講座【専門科目演習コース】<br>●公務員講座【公安系職種向教養科目】<br>●公務員講座【技術職コース】 |   |
|        |  |    |  |  | ●公務員ガイダンス<br>●公務員模擬試験<br>●教員模擬試験 |  |   |

\*スケジュールはキャンパスによって多少異なります。

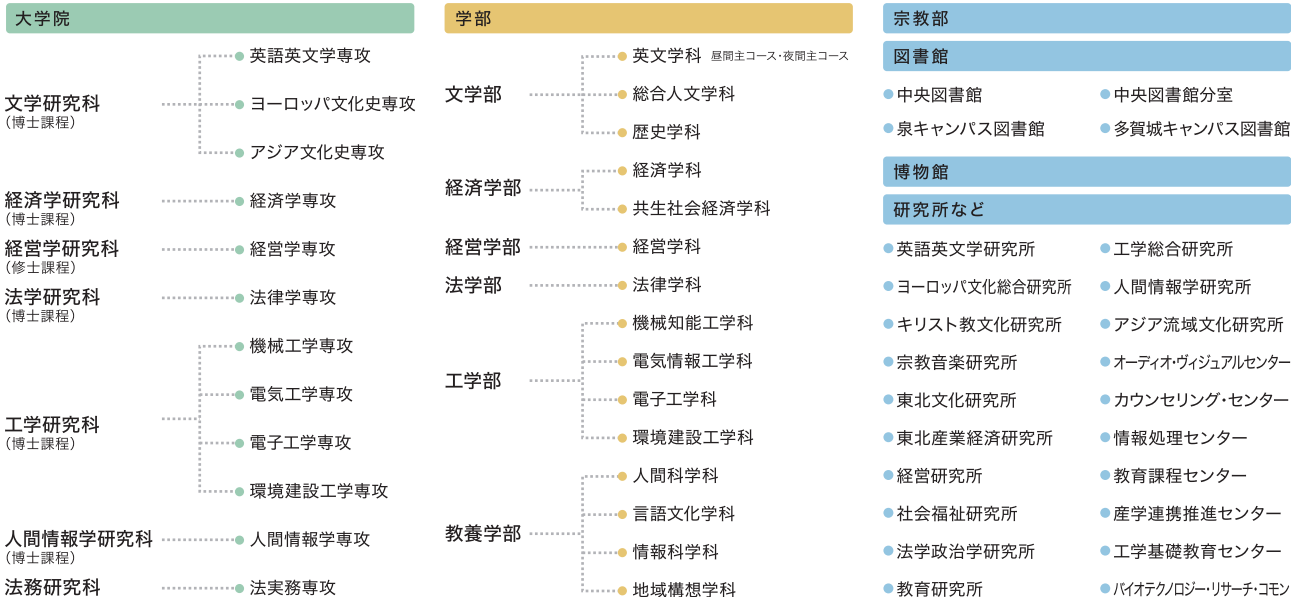


任期(平成22年～平成24年)

- 会長 …………… 丸森伸吾(仙台市)
- 副会長 …………… 三島卓郎(仙台市)・後藤久幸(仙台市)
- 庶務担当理事 …… 高橋祥允(仙台市)
- 会計担当理事 …… 小濱良雅(仙台市)
- 理事 …………… 寒河江満子(仙台市)・佐久間敬子(仙台市)・村山令記(仙台市)・齋藤靖(仙台市)・今野文昭(仙台市)・庄子真由美(仙台市)・菊地昇(仙台市)・武内宏之(石巻市)・桂久(札幌市)・成田智典(青森市)・松本宏(八戸市)・小野寺久美子(秋田市)・深澤禎彦(横手市)・工藤敏納(盛岡市)・大友敬敏(宮古市)・佐藤敏彦(宮古市)・及川和夫(北上市)・浦島康弘(大船渡市)・金子泰雄(山形市)・鈴木信一(酒田市)・國分容子(福島市)・只野裕一(相馬市)・福井丈夫(新潟市)
- 監事 …… 白木進(仙台市)・浅野ひとみ(仙台市)・菅野雅之(仙台市)
- 顧問 …… 平河内健治・星宮望
- 参与 …… 佐々木俊三・齋藤誠・辻秀人・原田善教・菅山真次・高木龍一郎・伊達秀文・佐久間政広・日野哲・佐々木哲夫・千葉昭彦・植松靖夫・石塚秀樹・前田修也・中川清和・佐々木郁子・松澤茂・木村安博
- 事務局長 …… 門脇邦知
- 事務局員 …… 武田三子雄・佐藤光男・丹野光雄・横山伸一・高橋明菅・井研二階堂哲・土田恵介・小原武久・駒板高明・渡邊義春・草野正聡

## ORGANIZATION 教学組織図

平成24(2012)年4月1日現在



## 東北学院大学

|                     |   |                      |   |               |  |
|---------------------|---|----------------------|---|---------------|--|
| <b>土樋<br/>キャンパス</b> | 大学院：文学研究科、経済学研究科、<br>経営学研究科、法学研究科、<br>法務研究科<br>学 部：文学部、経済学部・経営学部<br>法学部(各3・4年)、夜間主コース<br>〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1<br>tel 022-264-6421(総務課)<br>fax 022-264-3030( // ) | <b>多賀城<br/>キャンパス</b> | 大学院：工学研究科<br>学 部：工学部<br>〒985-8537 多賀城市中央1-13-1<br>tel 022-368-1116(庶務係)<br>fax 022-368-7070( // ) | <b>泉キャンパス</b> | 大学院：人間情報学研究科<br>学 部：文学部・経済学部・経営学部<br>法学部(各1・2年)、教養学部<br>〒981-3193 仙台市泉区天神沢2-1-1<br>tel 022-375-1121(庶務係)<br>fax 022-375-4040( // ) |
|---------------------|---|----------------------|---|---------------|--|

## 東北学院大学後援会通信 GROWTH(グロース) vol.20 ■本誌に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

発行日/平成24(2012)年4月  
 編 集/東北学院大学後援会事務局(総務部総務課内)  
 発 行/東北学院大学後援会 〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 tel 022-264-6411 fax 022-264-3030  
 E-mail kouenkai@staff.tohoku-gakuin.ac.jp URL http://www.tgu-kouenkai.org/  
 印 刷/ハリウコミュニケーションズ株式会社

○GROWTH(グロース)の意味は、「成長する」です。聖書には、「どんな種より小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる」(マタイによる福音書13章32節)、また、「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です」(コリントの信徒への手紙一3章6節)と記されています。東北学院大学の学生の皆さんが各分野において、知識や技術、教養を十分に修め、神と人に視されつつ大きく成長するようにという期待が本誌に込められています。

【本誌における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて】本誌に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本誌に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本誌の無断転載はお断りしております。

【個人情報保護法への取り組みについて】平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院大学後援会では個人情報の取り扱いについて、学校法人東北学院が制定した「学校法人東北学院個人情報保護規程」にのっとり、個人情報の適正な管理と保護に努めています。後援会事務局では、東北学院大学後援会の運営に必要な皆様の個人情報をお預りしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱っておりますので、皆様方のご理解・ご協力をお願いいたします。なお、後援会事務局で使用する個人情報の利用目的は次の通りです。

●保護者のための大学ガイド並びに「後援会通信「グロース」」の発行・送付 ●後援会総会並びに「地区後援会」の案内 ●その他、上記に関連する業務



GROWTHは、地産地消・輸送マイルージに配慮したライスインクを使用し印刷しています。